

## 1 現施設の概要



平成3年に県、高岡市、地元経済界が中心となり設置 (建築費 約32億円)

敷地面積 38,400㎡、建物延床面積7,080㎡ (うち大展示場3,050㎡)

駐車場 1,000台

運営 一般財団法人富山県産業創造センター

展示会等の開催や研究開発型企業の育成による産業の創出などを通じて、県西部地域を中心に経済の活性化に寄与

## 2 検討の背景・必要性

(1)高岡テクドームの利用状況

催事が固定的になり新規イベントが入りにくい状況

(2)高岡テクドーム周辺地域の環境の変化

新高岡駅に近接、道路網の整備、隣接する大型ショッピングセンターの増床など周辺の立地環境の魅力が向上

(3)新たなニーズ等への対応

1,000人規模の大規模会議に対応できる客席や常時活用可能な5Gの設備等を求める声

⇒ 多様なニーズに対応し、県民や企業にこれまで以上に親しまれ、県西部地域をはじめとする県内経済の活性化に資する拠点施設となるよう**展示・交流機能の拡充の方向性について検討**

## 3 機能拡充の方向性

(1) 展示に係る施設・機能の充実

- ・展示場(別館)を**現駐車場北側**に設置
- ・展示場(別館)は、**1,000席規模の多機能型**として整備

(2) 集客・交流に係る施設・機能の充実

- ・展示場(別館)にも**ものづくり産業の発信・体験施設を併設**

(3) その他

- ・地場産工芸品等を別館の建具等に可能な限り活用
- ・現施設の**産業展示機能の強化も検討**
- ・2022年(R4年)度末予定の北陸新幹線**敦賀開業**に向けて整備

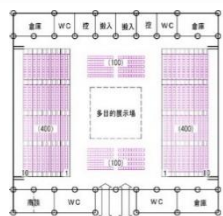
## 4 整備概要(イメージ)

【展示場】 (2,000㎡程度)

・**可動式客席や移動式間仕切りを導入**し、展示のほか、会議や各種イベントに柔軟に対応できる**多機能型**(1,000席程度)

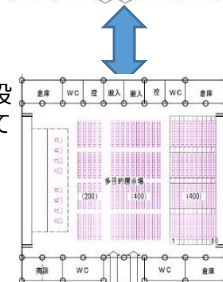
・本館大展示場と同時に大型行事を進行可能とする**大モニターや5G回線、映像・音響装置を導入**

(パターン例1)



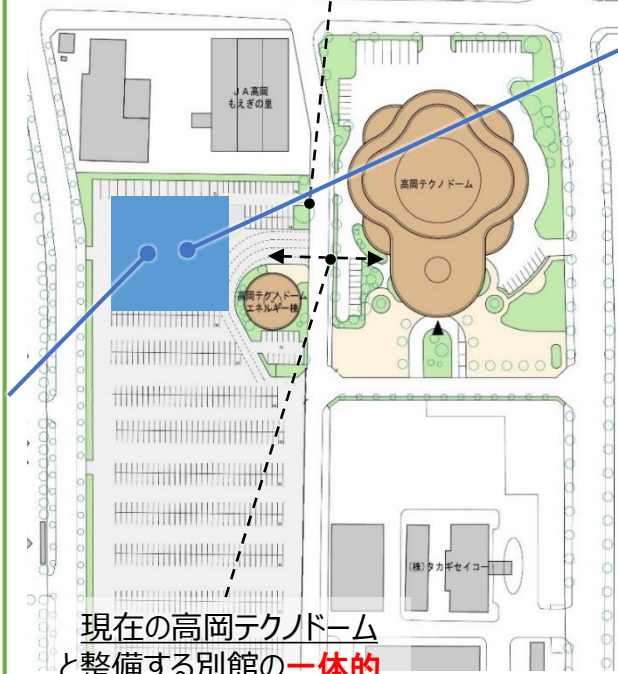
可動式観覧席を配備

全面フラットな展示施設のほか、イベントに応じて配置転換可能 (パターン例2)



・別館の整備に伴い拡充した機能を活かし、幅広い世代が参加できる**イベント、コンベンション等の誘致に取り組む**。

新高岡駅、イオン、高岡テクドーム等の周辺の施設との円滑な動線を確保するとともに、駐車場内の影響を最小限に留めるため**駐車場の北側に整備**



現在の高岡テクドームと整備する別館の**一体的な利用に配慮**

【集客・交流施設】(1,200㎡程度)

①ワークスペース (200㎡程度)

**親子などが気軽にものづくり体験**(伝統工芸、最新技術を活用したもの等)ができるワークスペース



②ものづくりギャラリー (100㎡程度)

伝統工芸から最新技術による製品まで、**県西部の産業技術を発信・体験するギャラリー**



③IoT・AI等の未来技術体験展示 (100㎡程度)

**VR、AR、IoT・AI等の未来技術を体験**できるアミューズメント・体験スペース



④コミュニケーションスペース (200㎡程度)

5G通信が可能で、スクリーン等の設備を備え**プレゼンテーションやミーティング**が可能なコミュニケーションスペース



⑤その他(カフェ、物販、休憩、管理部門) (600㎡程度)

(※①、②は、既存施設との相乗効果が生まれるよう調整)

【その他】

①地場産工芸品等の活用

城端絹織物、越中和紙、県産木材など、地場産工芸品等を壁面や建具等に可能な限り活用

②現施設の機能強化の検討

現施設は設置から29年が経過しているため魅力向上や別館との相乗効果に向けた機能の充実や大規模修繕を検討

③その他

屋外の憩いの場となる空間の設置や近隣の高岡スポーツコアなどとの連携して活用されるために必要な機能について検討

## 5 整備スケジュール



北陸新幹線の敦賀開業効果を最大限に引き出し、波及させていくためにも速やかに整備を進める。